

対象年度		令和 3年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート											
事務事業名		小学校英語活動推進事業						予算事業名		小学校英語活動推進事業費					
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令						
				10	01	03	0504	経常経費							
総合計画体系		4未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文						事業の区分		主要事業					
		4-1生きる力を育む教育環境づくり (学校教育)								重点事業					
		①教育内容の充実						担当課係等		学校教育課					
7外国語教育の充実						指導課									
事業期間		継続 (平成26年度～令和 3年度)													
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
英語専門指導員との生きた外国語活動 (英語)を通して、英語に慣れ親しませ、中学校英語へのスムーズな移行を図る。								文部科学省の小中高等学校を通した英語教育全体の根本的拡充の方針により、各市とも積極的に取り組んでいる。							
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】								【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】							
小学校1年生から4年生に対して、英語専門指導員と教員で外国語活動を実施する。 ・小学校1・2年生 (年間10時間) ・小学校3・4年生 (年間35時間)								小学校児童							
								【事業をとりまく環境の変化】 学習指導要領が改訂され、小・中・高等学校で一貫した外国語教育が求められている。本市では、「外国語指導助手派遣事業」とあわせて、英語教育の充実に努める。							
【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】							
小学生1・2年生が年間10時間、小学校3～4年生が年間35時間実施する。また、教材準備や担当との授業打ち合わせの時間を研修時間として確保し、質の向上を図る。				小学生1・2年生が年間10時間、小学校3～4年生が年間35時間実施する。また、教材準備や担当との授業打ち合わせの時間を研修時間として確保し、質の向上を図る。				小学生1・2年生が年間10時間、小学校3～4年生が年間35時間実施する。また、教材準備や担当との授業打ち合わせの時間を研修時間として確保し、質の向上を図る。							
■事業費															
				R01年度		R02年度									
財源内訳	国庫支出金			0		0									
	県支出金			0		0									
	地方債			0		0									
	その他			0		0									
	一般財源			3,793		3,609									
歳入計 (千円)				3,793		3,609									
歳出内訳	節 (番号 + 名称)				金額 (千円)		金額 (千円)								
	07 報償費				3,239		3,282								
	10 需用費				529		300								
	11 役務費				25		27								
歳出計 (千円) (A)				3,793		3,609									
伸び率 (%)						-4.85									
備考	総合計画 112ページ 予算書 157ページ														

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	小学校派遣日数（1校あたり）	日	目標	35.00	35.00	35.00
			実績	35.00	0.00	0.00
	小学校実施時間数（1校あたり）	時間	目標	150.00	150.00	150.00
			実績	150.00	0.00	0.00
成果 指標	総契約時間数	時間	目標	2,140.00	2,140.00	2,140.00
			実績	2,140.00	0.00	0.00
	総活動日数	日	目標	315.00	315.00	315.00
			実績	315.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	外国語（英語）の教科化が行われ、必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政以外に実施できない事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	課題を出しながら検討していきたい。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	一般的と思われる。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	広い範囲に便益が提供されている。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	英語に対する興味・関心は高まっている。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	検討しながら改善していきたい。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
英語専門指導員と外国語担当教員の指導力の学校による格差が課題である。研修を進める必要がある。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
将来の結城市を担う国際人を育成するために、その成果を可視化できる具体的な方策によって検証する必要がある。また、「外国語指導助手派遣事業」と連携した取組を模索していきたい。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 小学校中学年での外国語活動が、小学校高学年や中学校でどのようにいかされているかを検証する必要がある。その評価方法も検討する必要がある。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	